

日本遺産を世界へアピール  
JICA筑波センター外国人研修員が  
安積疏水及び農業関連施設等を視察します



ターゲット 6. a



ターゲット 17. 17

2024年7月18日  
郡山市文化スポーツ部  
国際政策課  
課長 鈴木 美香  
TEL: 924-3718

SDGs ターゲット 6.a 「開発途上国における水と衛生分野での活動と計画を対象とした国際協力と能力構築支援を拡大する」

SDGs ターゲット 17.17 「効果的な公約、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する」

独立行政法人国際協力機構（JICA）筑波センターにおいて、稲作技術を学ぶ外国人研修員が、研修の一環として、本市及び猪苗代町の安積疏水関連施設等を視察します。

- 1 日程 7月25日（木）～26日（金）
- 2 行程

期日	時間	視察・見学場所	備考
7/25 (木)	9:30～12:00	梨農家での作業体験 選果場での見学（郡山市熱海町）	梨農家とのふれあい
	13:00～14:30	稲作農家での作業体験 （郡山市熱海町）	稲作農家とのふれあい
	15:00～16:00	JA 福島さくら農産物直売施設 あぐりあ （郡山市安積町成田一丁目 20-1）	施設見学
7/26 (金)	9:00～11:00	安積疏水土地改良区、水管理センター （郡山市開成二丁目 22-2）	講義（安積疏水の歴史） 施設見学
	11:40～12:20	上戸頭首工（猪苗代町山潟）	施設見学
	12:30～13:00	田子沼分水工 （猪苗代町山潟字沼上山 1043-30）	施設見学
	14:30～15:30	ほっとあたま（熱海公民館） （郡山市熱海町熱海二丁目 15-1）	振り返り・意見交換会



▲昨年の視察研修（安積疏水土地改良区、上戸頭首工）の様子（2023年7月）

- 3 参加者 外国人研修員 10名 カメルーン、エチオピア、ガンビア、ギニア、リベリア、マダガスカル、マラウイ、フィリピン、ウガンダ
- 通訳・担当者 3名



2024（令和6）年 郡山市は市制施行100周年!!

ひらけ 未来へ こおりやま

<安積疏水関連施設におけるJICA視察研修の受け入れについて>

開発途上国において、灌漑施設の管理手法や農村開発は重要なテーマであり、日本に学びに来る研修員にとって、「世界かんがい施設遺産」にも登録されている安積疏水は、その背景や仕組みから自国の発展に寄与する有意義な研修素材であることから、本市では、国際貢献の観点を踏まえて、2019年からJICA視察研修を積極的に受け入れており、今回で10回目となります。2023年7月上旬には、ウクライナ農業政策食料省による農業部門の復興を目的とした視察研修も行われました。

視察施設の一部は、日本遺産ストーリー「未来を拓いた『一本の水路』」の構成文化財となっていることから、今後のインバウンド誘致による観光促進についても期待できるものとなっています。